



アイヌ民族博物館の現状を全国に

中村館長 博物館界最高賞の棚橋賞を受賞

『博物館研究』Vol.40 No.8(平成18年8月25日、財団法人日本博物館協会発行)に掲載の中村館長の報告「私立アイヌ民族博物館の必死」が、棚橋賞選考委員会において最多得票を獲得し、棚橋賞を受賞しました。

棚橋賞は、日本の博物館の基礎を築き、発展に寄与した棚橋源太郎氏を顕彰し、国内において優秀な博物館研究をしている方に授与する荣誉ある賞です。

授賞式は、平成18年11月16日(木)、長崎市で開催された日本博物館大会の中で行われました。

以下は、中村館長の報告についての選考委員の評価です。

「中村氏の報告は、氏が館長を務める私立アイヌ民族博物館が、起死回生の試みとして実施した『ポロコタンの夜』や学校教育との連携等の活動を通じてアイヌ民族の文化を伝えるべく必死の努力を続けていることをまとめたものである。報告は、同博物館が少数民族の消えつつある有形・無形の文化財の保存と発信の機能を持つ機関というだけでなく少数民族の人権回復をも視野に入れる。こうした博物館の機能と責務を果たすために博物館が懸命の努力を積み重ねていることは、博物館関係者のみならず広くアピールすべき事である。」 (『博物館研究』Vol.42 No.1 より)



授賞式(右が中村館長)

新商品入荷 絵本も充実

ミュージアムショップ「イカラカラ」に、新商品が入荷しました。今までは、販売書籍のほとんどが、研究書や専門書で、小さなお子さんが読める絵本が少ないため、新しく8冊の民話絵本を揃えました。その他、文様彫刻の入った木製コースターや、くるみが4~5個入るくらいの小さな編み袋ポンサラニブ、小銭入れなども入荷しました。工芸品は、手作りのため、大抵は割高なのですが、当館のポンサラニブ(小さな編み袋)やポンキナ(小さなゴザ)は、手頃な値段なので手づくりの工芸品をお土産にしたいお客様に人気があります。



入荷した絵本8冊(¥1,260~¥1,470)

また、年始に店内の配置換えを行い、商品が選びやすくなりました。新商品をお探しのついでに、店内がどんなふうになったかも見に来てください。

苫小牧駒澤大学シンポジウム開催

1月27日(土)、苫小牧駒澤大学と当館共催の、第9回学術シンポジウムを行いました。テーマは「イオル構想の実現を果たすには～イオル構想が目指すものとは～」で、中村館長が「アイヌ民族の子供たちのためのイオル構想」と題して基調講演をし、その後参加者が意見交換を行いました。イオル構想の実現は、和人側にはどのような効果があるのかという質問や、自分たちが手伝えることは何か、幼少期からアイヌ文化学習を取り入れるべきなどのたくさんの意見が出されました。



大学生だけでなく一般市民も参加したこのシンポジウムは、イオル構想について広く市民に伝えることができ、参加者は今まで抱いていた疑問の回答が得られたようで、主催した大学と当館にとっても有意義なものとなりました。

事業のご案内

アイヌの食文化講座

日程・内容

2月10日(土)「アイヌ料理の基本編～肉～」

2月24日(土)「アイヌ料理の基本編～魚～」

2月25日(日)「アイヌ料理の基本編～植物～」

時間:10:00～13:00 場所:当館体験学習館

講師:村木美幸(当館学芸員)、倉部テル子(当館職員)

持ち物:エプロン 参加費:300円 定員:20名

アイヌ語教室

日程:2月7日(水) 2月14日(水)

2月21日(水) 2月28日(水)

場所:当館研修室(2F) 時間:17:30～20:00

内容:「白老のうた 聞き起こし」

白老に伝わる子守唄などを古い録音資料を使いながら、アイヌ語の聞き起こしや意味などについて学ぶ。

講師:安田千夏氏

参加費:無料

アイヌ文化講座

日時:3月10日(土) 13:30～15:00

テーマ:「アイヌ民族の畑と作物」

場所:当館映像展示室(1F)

参加費:無料

講師:山田悟郎氏(北海道開拓記念館学芸部長)

日時:3月17日(土)13:30～15:00

テーマ:「アイヌ伝統料理の栄養について」

場所:当館映像展示室(1F)

参加費:無料

講師:金内花枝氏(苫小牧駒澤大学助教授)

参加ご希望の方は、アイヌ民族博物館学芸課 TEL 0144-82-4199 までご連絡ください。